

公共施設の利活用に向けた 市の取組について

～ 考えよう！公共施設の“アカルイミライ”～



令和元年度
会津若松市 企画調整課

目次

- 1 取組の目的
- 2 取組の背景と経過
- 3 取組のポイント
- 4 今後の予定

(参考資料)

1 取組の目的

1 取組の目的 ①

- 市では、現在、将来の公共施設の維持管理や利活用
の実実施計画である

「公共施設再編プラン」の策定を進めています。

令和2年度
に策定！

- この計画は、私たち全員の共有財産である「公共施設」
を、より多くの方にとって「価値ある場所」にするために
サービスの組み替え（再編）を行いながら、未来の
まち・地域をデザインする、長期的な実行計画です。
(終わりのないプロジェクト！)

- 計画の策定や実施にあたっては、市民の皆様と
一緒に考え、見直しを繰り返しながら、
よりよいアイデアをつくり、実現してまいります。

1 取組の目的 ②

■ 今回のワークショップでは、

「公共施設再編プラン」の基礎となる

将来の地域のあり方 と

地域ごとの施設の利活用の方向性・アイデア

を考えます。

いただいたアイデアや意見は、

⇒ 「公共施設再編プラン」に反映

⇒ さらに、次年度から、実際に地域活動や

施設活用の取組として実現していきましょう！

2 取組の背景と経過

2 取組の背景と経過 ①

■ 取組の背景

- ・・・ 高度経済成長期の人口急増に伴って集中投資された公共施設の老朽化の進展と税收減や社会保障費等の増加
- ・・・ 「よりよい施設」の要求（冷房、エレベーター、トイレなど）
⇒ 今後見込まれる **改修費の確保** が課題！！

【 悲惨な事故の事例 】



笹子トンネル天井崩落事故
(2012年12月2日 山梨県大月市)



大阪北部地震によるブロック塀の
倒壊事故
(2018年6月18日 大阪府高槻市)



イタリア橋崩落事故
(2018年8月14日 イタリア北部ジェノバ)

⇒ **全国的に、公共施設の維持整備と安定した財政運営との両立**
= 『公共施設マネジメント』 が必要に！！

2 取組の背景と経過 ②

■ 「公共施設マネジメント」とは

- ・・・最適な公共施設サービスの提供と安定した財政運営を両立させる自治体経営の視点から、地方公共団体等が所有又は管理する全ての公共施設を総合的かつ統括的に企画、管理及び活用する仕組み（「総合管理計画」P1より抜粋）



簡単に説明すると...

①施設を、安全に長く使う

②施設を、誰もが使いやすい状態に保つ

③施設を、有効に活用する（サービス向上）

以上、3つの取組を限られた財源の中で総合的に実施すること

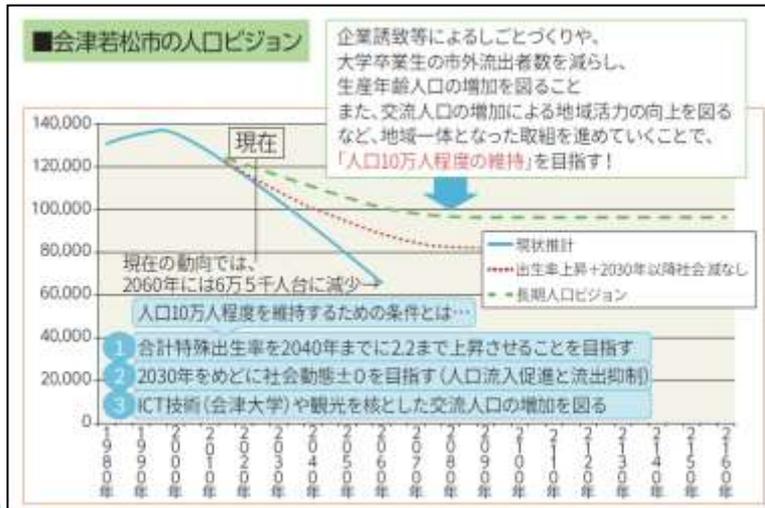
- ・複合利用
- ・運営方法改善
など

2 取組の背景と経過 ③

■取組の背景（本市の人口・財政）

本市においても全国と同様、

人口減少や税収減、社会保障費等の増加が進んでいます。



・市の人口は、平成7年（1995年）の137,065人をピークに減少傾向

- ・市税収入に対し、民生費（社会福祉にかかる経費）は増加傾向。
- ・一方、投資的経費（インフラ整備にかかる経費）は限定的。

2 取組の背景と経過 ④

■ 取組の背景（本市の公共施設の現状）

● 建物系公共施設

- ・ 施設数：約380施設
- ・ 延床面積：約48万㎡
- ・ 年間維持管理費：約43.0億円（工事費、

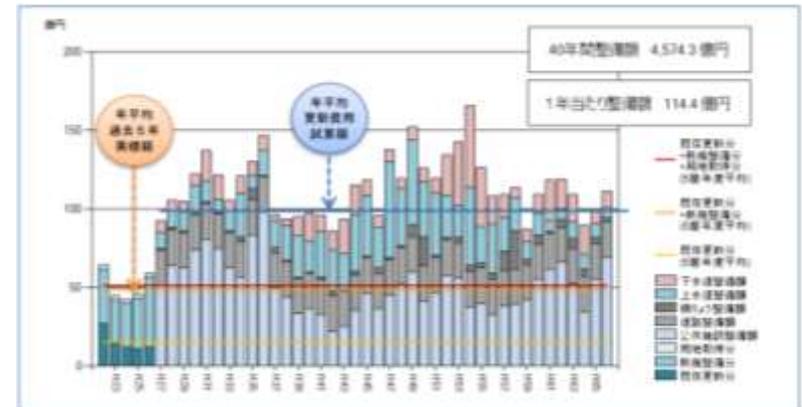
● インフラ（社会基盤）系公共施設

- ・ 一般道路（総延長）：約1,407.8km
- ・ 橋（総延長）：約 6.5km
- ・ 上水道管（総延長）：約 800.4km
- ・ 下水道管（総延長）：約 403.7km
- ・ 都市公園等（総面積）：約212万㎡

● 既存施設の改修・建替えの経費（推計値）：約114.4億円（年平均）

● インフラ整備費の実績額（年平均）：約48.8億円

⇒約4割しか維持できない！！



**充足率
42.4%**

※公共施設等総合管理計画（H28.8策定）より（H26年度決算ベース）

※充足率 = 投資的経費実績額 / 既存施設の改修・建替えの経費

2 取組の背景と経過 ⑤

■ 施設の利用状況

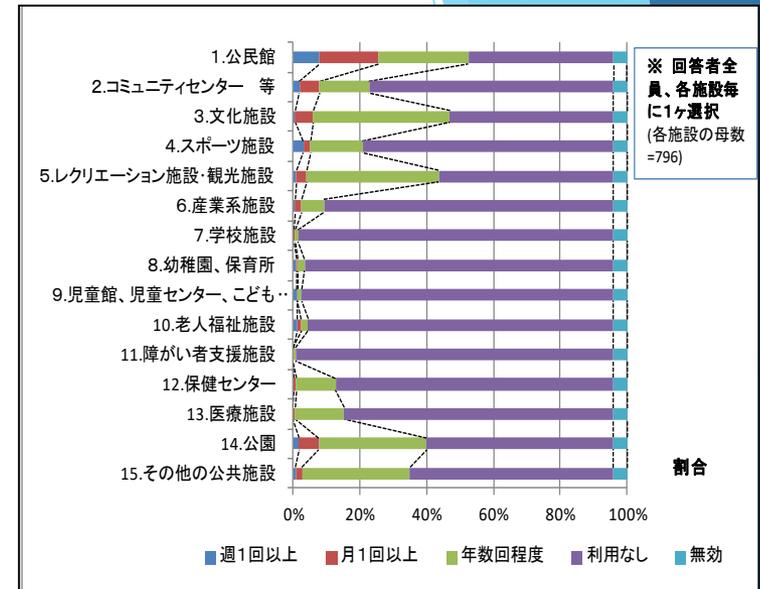
- ・道路や庁舎、学校などを除き、
大半の施設が利用されていない

※「年数回程度」「利用なし」が60%以上

■ 課題に対する市民意識

- ① 「利用が少ない施設を有効活用すべき」が最も多い
- ② 「適正な施設の数や規模に減らしていくべき」「他の施設と集約したり設置場所を変更すべき」が次に多い
- ③ 「使用料の値上げによる管理運営費への充当や税金の充当」を支持する回答は少ない

⇒ **使用料や税金の値上げよりも、「施設のあり方」を見直すべき**



今回の取組！

※公共施設市民アンケート(H26実施)より

2 取組の背景と経過 ⑥

■キックオフイベント「まちづくりセミナー」

10月17日、地区別ワークショップの開催に向け、『公共施設マネジメント』の考え方や市内の先進事例について学び、意見交換を行いました！

※「まちづくりセミナー」の様子（40名をこえる方に参加いただきました！）



2 取組の背景と経過 ⑦

■ 「まちづくりセミナー」でいただいた意見

◆ 何もしないと施設やまちはどんな状況になるのか！（悪い未来）

① 使いにくい

- ・ 特定の人のための施設になっている。
- ・ 施設の状況が悪化すると愛着がなくなる。
- ・ 使いづらくなり、使わなくなる。



② 危険

- ・ 設備、施設の老朽化が進み、事故が多くなる。

③ コミュニティ不足

- ・ 孤独死が増える。
- ・ 身近な話し合いができる場所（集会所など）がない。
- ・ 集落が消滅する。

④ 空く、にぎわい無い

- ・ 少子化で学校等の建物が空く。
- ・ 空き家が増え、防犯上このましくない。
- ・ 地域の魅力、まち全体の賑わいがなくなる。

2 取組の背景と経過 ⑧

■ 「まちづくりセミナー」 でいただいた意見

◆ こうすると、施設を活用できるというアイデア（よい未来）

① 利用方法

- ・ 学校を勉強するだけの場所ではなく、公共施設として地域の活性化につながるような施設に変える。
- ・ 子ども・学生などが中心となって運営することで、若い人の利用者を増やす。
- ・ 用途を限定せず、使用・解放。

② アイデア

- ・ 公共施設で食事・物販ができると、地域でお金がまわる。
- ・ マンガを置く。ベンチを置く。

③ こわす

- ・ 使わない施設はつぶす。
- ・ 多くの施設を一つにまとめる。

④ タダに（無料化）

- ・ 施設利用の無料化
- ・ バスの無料化（高齢者が外出しやすい環境の確保）



2 取組の背景と経過 ⑨

- 共感できる考え・アイデアはありそうですか？
 - 本日のワークショップでは、こうした意見・アイデアをふまえながら、身近な地域の未来をデザインしていきましょう！
- ※くわしい振り返りは、後程行います！！

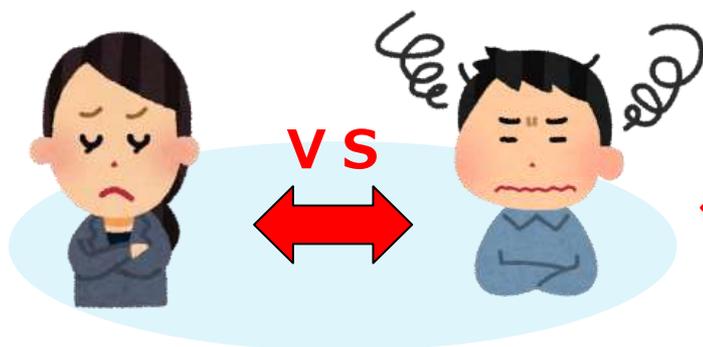
3 取組のポイント

3 取組のポイント ①

■ 取組にあたって大切にしたいこと

市も住民も 同じまちに暮らすパートナー です！

要望・要求 = 対立



参画・協働 = パートナー



楽しく

パートナーシップで未来をデザインしましょう！

3 取組のポイント②

■ 意見やアイデアに困ったら. . .

普段考えていないことに取組むので、迷って、悩んで当たり前！！
困ったら、次の視点で考えてみてください。

① 「知らない・分からない」がそもそも課題！？

- ・使ったことがない・知らないのでわからない
⇒なぜ使わないのだろう？PR不足？必要がない？
どうしたら行ってみたいくなる？使いたくなる？

② 「自分以外」も考えてみましょう！

- ・自分には十分。でも、他の人はどうでしょうか？
(子ども、子育て世代、障がい者、高齢者、区長 など)

③ 自分の好きな場所を思い浮かべてみましょう！

- ・あなたの好きな場所、行きたい場所は？そこと今の地域、
施設はどう違う？

自由な発想で
OK!

4 今後の予定

4 今後の予定

- 「未来デザインワークショップ」は市内全地区で行っています。
- 来年5月上旬に各地区の成果を市民全員に共有する成果報告会を開催します！
- このワークショップの最後には、地区の代表として参加・ご協力いただける方を推薦いただきたいと思います。

※地区で3名程度

※現時点の予定でかまいません。

よりよい地域づくりのために、 みんなで取組んでいきましょう！

- 詳細については
 - ・ 会津若松市の公共施設マネジメントホームページ⇒
 - ・ トップページからは
【分野 → 事業・計画 → 公共施設マネジメント】
- お問合せ・ご感想
 - ・ 会津若松市 企画政策部 企画調整課



【参考資料】

(参考資料) 全市的な地区ワークショップの予定

■ 「地区別ワークショップ」の開催概要

- 目的：「公共施設再編プラン」の基本的な考え方となる「将来の理想の地域像」や、その実現に向け、必要な「活動」及び、「施設の活用のアイデア」などについて、ワークショップを通じて地域ごと、世代ごとの意見やアイデアを明らかにする。
- 方法：全市を3エリアに分け、エリアごとに、全2～3回※程度の意見交換会を行う予定です。
なお、地域の共通点や違いを知り、住民同士の交流や情報交換などを深める目的で、複数地区合同での開催を予定しています。

※連続した内容のワークショップです。できる限り全ての回にご参加ください。

(参考資料) 全市的な地区ワークショップの予定

■ 「地区別ワークショップ」の開催予定

➤ 開催スケジュール

① **北・一箕エリア…11月23日・12月14日** (全2回)

@会場：北公民館 (11/23) ・一箕公民館 (12/14)

(予定対象地区：永和・神指・一箕・松長小学校区)

② **南・大戸エリア…11月24日・12月15日** (全2回)

@会場：南公民館 (全日)

(予定対象地区：門田・小金井・城南・大戸小学校区)

③ **中央・東エリア…1月11日・25日・2月9日** (全3回)

@会場：會津稽古堂 (全日)

(予定対象地区：鶴城・謹教・城北・日新・城西・東山小学校区)

◎先行して取組を進めている、行仁・北会津・河東・湊地区は、個別に検討を進めていきます。

※詳細は、募集チラシをご確認ください。